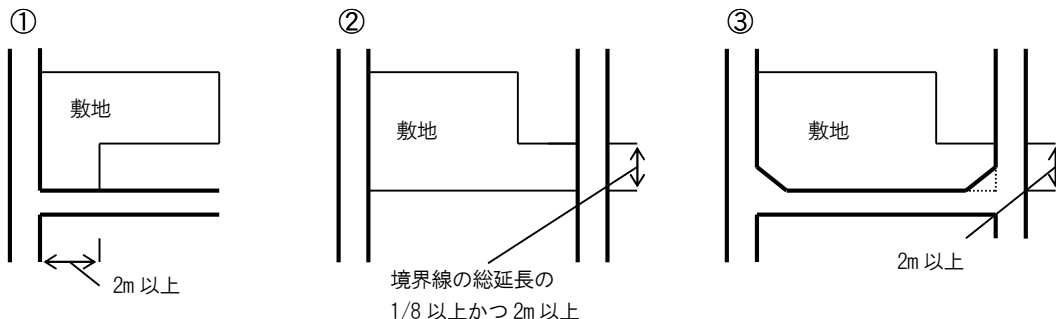


集団規定

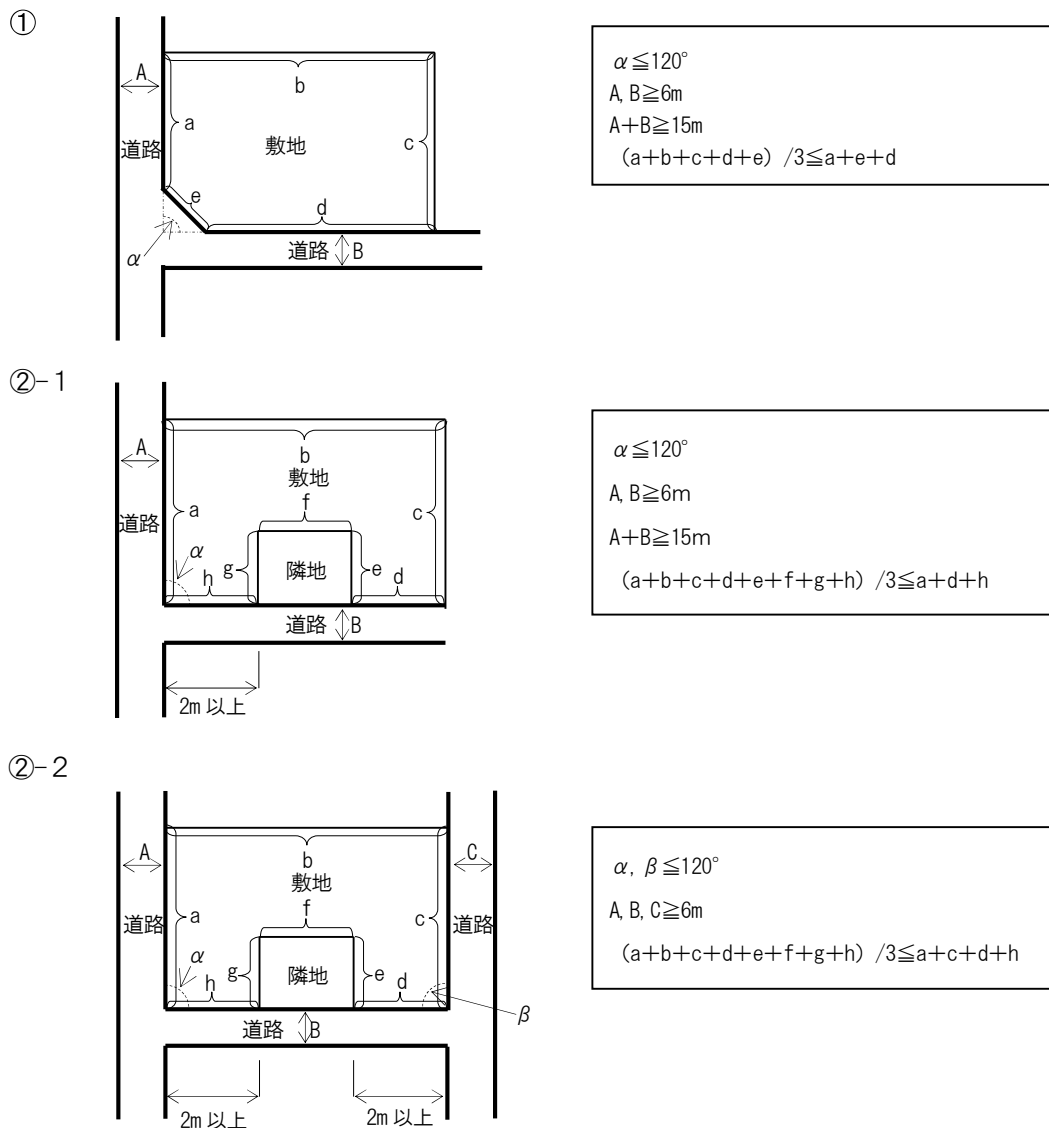
法第53条第3項第二号
市条例第15条

17. 建蔽率が緩和される敷地の指定

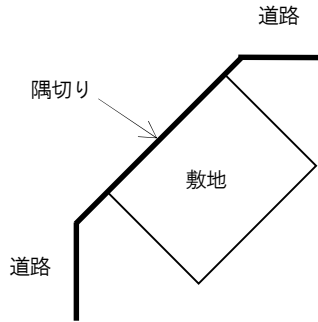
1. 名古屋市建築基準法施行条例第15条第一号から第三号に規定するそれぞれの道路に接する長さは、原則として2m以上とする。



2. 名古屋市建築基準法施行条例第15条第一号、第三号の測り方は、下図により取り扱う。



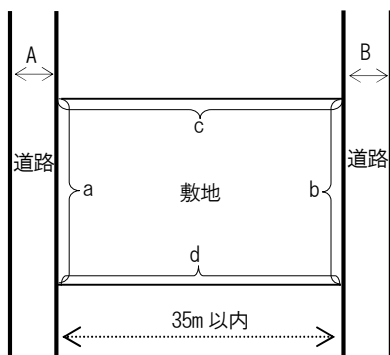
※ なお、以下の場合には建蔽率の緩和を適用できない。



敷地が隅切りのみに接する場合

3. 名古屋市建築基準法施行条例第15条第二号における道路間にある敷地の「道路境界線の間隔が35m以内」の測り方については、下図により取り扱う。

①



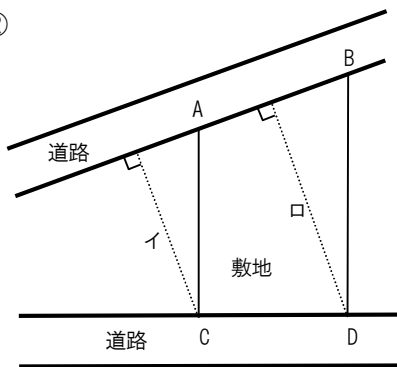
$$A, B \geq 6m$$

$$A+B \geq 15m$$

$$(a+b+c+d) / 8 \leq a, b$$

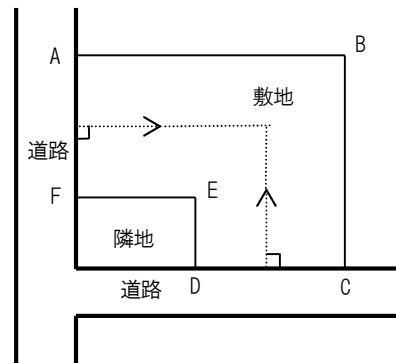
$$(a+b+c+d) / 3 \leq a+b$$

②



C及びDからABへの垂線イとロの平均の距離とする。
ただし、ACの距離を下まわることはいけません。
また、③を適用してもよい。

③



AFの中点からの垂線とDCの中点からの垂線の交点までの距離の合計とする。

<考え方>

敷地については、様々な形態があり、一つの基準ですべて判断することは困難ではあるが、上記の例図を参考に判断するものとする。

【参考】愛知県建築基準法関係例規集 [平成29年版] 第8版 P181 角地緩和の解釈

(2023改正)